

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

312-756

事務事業名	健康学習推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	公民館		包含する細々目	1	10	5	4	11	2	550
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	31 心と体の健康づくり											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	18	年度～	23	年度						
					関連計画	条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	自らの健康に関心をもって暮らすことにより、結果的に医療費は安くなる。	講座参加者数	18目標	7060	最終目標	
			18実績	3469	19目標	7150
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・各公民館であらゆる世代と市民を対象として、医療、運動、栄養など健康を課題として様々な角度から実施する学習活動。	・連続した学級講座を開設。保健師や栄養士と連携しての活動。	講座開催回数	178回
	18年度の実績			
	19年度計画	・連続した学級講座を開設。保健師や栄養士と連携しての活動。	講座開催回数	180回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	339	550
	事業費計(A)	339	550
人件費	正規職員所要時間	18年度 688	19年度 720
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	2,460	2,575
	トータルコストA+B	2,799	3,125

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	心身共に健康に保つ	心身共に健康であると感じている市民の割合	現状値	62.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 健康への関心の高まり。	事業を取り巻く状況の変化 医療費の個人負担の増加。 メタボリック症候群など国民の健康に対する不安や 関心が高まっている。	事業に対する市民や議会の意見
------------------------------	---	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 誰もが健康で過ごすことが、安心して暮らせる地域を作る基本であるため、結びついている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 医療、運動、栄養などいろいろな角度から健康づくりを進める必要がある。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) あらゆる世代の市民を対象としているため、見直しの必要はない。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 他に学習機会があるが、より多くの機会が必要であるため、廃止すると機会が少なくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 健康で暮らすことは市民にとって大切なことであるため、見直しの必要はない。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 各機関連携して事業を効果的に実施している。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 医療費を下げるためにも、市が積極的に取り組む必要がある。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 最小の経費で実施している。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 必要に応じて徴収している。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 食育の推進にも力を入れていく。 学習プログラムの改善。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	